

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

| | | | | | | | |
|-------|------------------|-----|-------|-----|-------|---|----|
| 教科 | 芸術科 | 科目 | 美術Ⅱ | | 単位 | 1 | 単位 |
| 対象コース | 美術コース | コース | 対象クラス | 1 年 | 8・9 組 | | |
| 使用教科書 | 高校生の美術1 (日本文教出版) | | | | | | |
| 使用副教材 | | | | | | | |

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

| |
|---|
| 学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 1年生美術Ⅰでは、①デッサン、②美術理論(色彩論と透視図法)、③彫塑という3つの領域で学習する。 ①本コースの実技指導は、綿密な観察力と描写力を土台としているため、デッサンの実習には最も力を入れて学習する。 1年次では基本的な物の見方、表現方法の習得を目標とする。 ②美術理論、色彩論は作品の色彩計画の基準となる知識を学習する。 3学期の最後には各種の透視図法を学び、アトリエの室内を描いて実習する。 ③彫塑の課題は年間1回実習する。全方向からのデッサン力を養い、形の構造を理解する上で非常に重要な課題である。 |
| 学習内容：この科目で学習する大まかな内容 ①はデッサンの基礎演習の実習。1学年前期では基本形体の描写、素描画材の扱い等、基本的な部分を確実に修得し、後期は自画像等発展的なモチーフを描く。 ②美術理論では、前期は色彩論を学習する。色相環の理解、色の三属性の理解から、色彩論を応用した配色の演習を行う。後期は図法を学習する。三面図の読み取りと作図、多角形の作図を中心に学ぶ。 ③彫塑では、立体造形の最初の課題として「握った手」をモチーフに、彫塑用粘土を使って制作する。 |
| 学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1)学校 デッサンと彫塑は主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。 (2)家庭 色彩論は、定期考査で出題されるため、自宅での予習、復習が不可欠である。 |









3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

| | | |
|--|----|---|
| 評価方法：何を使って評価するのか ①デッサン、③彫塑は主に完成作品で評価する。技能的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。 各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。 ②色彩論は、主に定期考査で評価する。考査は授業内容から出題される確認テストで、その得点によって理解の度合いを計る。また授業中の態度、課題提出状況等を平常点として加える。 | | |
| 評価における定期考査の割合 | 50 | % |

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

| |
|--|
| 評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1)関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度 (2)思考・判断 デッサンでの総合的判断力、色彩論・図法の知識を応用する力 (3)技能・表現 デッサンでの描写力、表現力、彫塑での造形力 (4)知識・理解 形態の構造や遠近法、色彩論、透視図法の理解度 |
|--|

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

| 年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか | | | | 重視する評価の観点 | | | | CHECK |
|-----------------------------|--------|---|--|-----------|---|---|---|-------|
| 学期 | 月 | 学習の項目 | 学習の内容 | 関 | 思 | 技 | 知 | ○△× |
| 1 | 4 ～ | 「静物デッサン 基本形体の描写」   | 「立方体、球体、円柱のデッサン」9時間 使用教室第1アトリエ 15時間/A3画用紙/鉛筆 配布されたモチーフを鉛筆デッサンする描写を理解する上で基本となる、立方体、球体、円柱の描写表現を理解する。 木の立方体、テニスボール、紙コップをモチーフに描く。 鉛筆、練り消しゴムなど用具の使い方 構図 基本形体の把握 明暗の表現 質感の表現 空間の表現 | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 1 | 5 | 「色彩論」 色彩の基礎知識の学習   道徳 | 「色彩論」6時間 使用教室：第2コンピューター室 色彩の基礎知識を学習。色の基本的な要素を学び、それを使って類似や対照、面積や配置などを配色の演習を行う。学習内容を今後のデザイン、絵画制作に活かす。 5月に実施するデザインの課題「平面構成色彩演習」と連動した課題 ユニバーサルデザインを通し道徳教育を実施 | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 1 | 5 | 「第1回査 筆記試験」 色彩論」   道徳 | 「第1回査・色彩理論」 1時間/筆記試験 授業内容の理解度を確認する筆記試験。 色相環の理解 色の名称 色の明度、色相、彩度の理解 三原色の理解 トーンの名称 色彩論を応用した配色の理解 | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 1 | 6 | 「第2回査 デッサンコン クール」  | 「第2回査静物デッサン」 2時間/配布モチーフ/ コンクールサイズ 画用紙/鉛筆 ※全学年で行うデッサンコンクール | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 2 | 10 | 「第3回査 デッサンコ ンクール」  | 「第3回査 デッサンコンクール」 2時間/手のデッサン コンクールサイズ/鉛筆 ※全学年で行うデッサンコンクール | ● | ● | ● | ● | ○ |
| 2 | 10 | 「自画像 木炭デッサン」   | 「自画像 木炭デッサン」 鏡に映る自画像を描く 21時間/木炭紙/木炭 明暗で大きく形態をとらえる描き方を学ぶ。 1月に実習する自画像油彩につなげる。 | ● | ● | ● | ● | ○ |

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



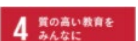
※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン





アイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

